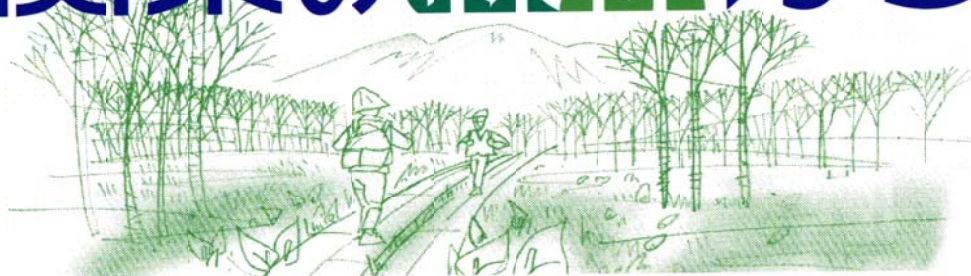


平成23年8月1日

第89号

関東の森林から



国民の森林・国有林

関東森林管理局

前橋市岩神町4-16-25

TEL.027-210-1158

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/>



乙斐山から望む高妻山^{たかつまやま}（新潟県妙高市・長野県長野市）

（撮影者：上越森林管理署 栗田 喜則）

森林法改正の概要と関東森林管理局のチャレンジ

企画調整室

私と国有林 「奥山の景観と雰囲気を実感できるところ」

NPO法人いわきの森に親しむ会

理事長 松崎 和敬 氏



2011・国際森林年

森林法改正の概要と関東森林管理局のチャレンジ

企画調整室

平成23年4月22日、森林法の一部を改正する法律が公布されたので、その概要と関東森林管理局の取り組みをご紹介します。

この改正法は、昨年11月にとりまとめられた森林・林業基本政策検討委員会の「森林・林業の再生に向けた改革の姿」を踏まえて、「森林・林業再生プラン」を法制面で具体化したものです。

今回の森林法改正では、森林所有者がその責務を果たし、森林の有する公益的機能が十分に発揮されるように、森林所有者が不明な場合にも必要な間伐や造林等を確保するための私権制限の強化や、森林経営計画の創設など森林計画制度の見直しを行っています。

また、新たに森林の土地の所有者となった者の届出制度の創設や無届伐採が行われた場合の伐採の中止命令の新設などが盛り込まれました。なお、施行期日については、基本的に平成24年4月1日から施行されますが、東日本大震災への対応等から森林へ立入調査できる者の拡大等の一部の規定については公布日からの施行となります。

今後は、改正内容の関係者への周知徹底を図るとともに、森林・林業基本計画の見直しや、平成23年度予

算から新たに導入した森林管理・環境保全直接支払制度等を着実に実施し、森林・林業再生プランの実現を図るとしています。

森林法の概要

1 所有者が不明の場合を含む適正な森林施業の確保

(1) 他人の土地について路網等の設置が必要な場合、土地所有者等が不明でも使用権の設定を可能にするため、公開による意見聴取の機会を設ける旨を公示すること等により、手続きを進められるよう措置する。

(2) 森林所有者が、早急に間伐が必要な森林（要間伐森林）の間伐を行わない場合もしくは、所有者が不明な場合であっても、行政の裁定により施業代行者が間伐を行うことが出来るようにするなど制度を拡充する。

2 無届伐採が行われた場合の造林命令の新設

無届による伐採について、森林

所有者のいかんを問わず、災害発生等防止の観点から伐採の中止及び伐採後の造林を行わせるための命令を、新たに発出できるよう措置する。

3 森林の土地の所有者となった旨の届出

新たに森林の土地の所有者となった者に届出義務を課すこととする。

4 森林所有者に関する情報の取り扱い

都道府県知事及び市町村長はこの法律の施行に必要な範囲で森林所有者の情報提供を行うことが出来る。

5 森林計画制度の見直し

森林所有者等が作成する現行の森林施業計画を森林経営計画に改め、内容の改正を行う。

(1) 集約化を前提に、路網の整備等を含めた実効性のある計画とする。

(2) 森林所有者のほか、その委託を受けて長期・継続的に森林経営を行う者（森林組合等）が計画を作成する。

関東森林管理局の取組

関東森林管理局では、「森林・林業再生プラン」の実現のため、平成22年4月から組織・技術・資源を活かして、管内にある23の森林管理署等ごとに課題を掲げ、国民の財産である国有林を守るとともに、林業経営及び技術の高度化に貢献できるように、次のような様々な取り組みにチャレンジしています。

1 民有林と国有林が連携・協力した森林整備の推進

関東森林管理局では、静岡県、福島県などとの間で、民有林・国有林の連携による森林整備を推進するための「覚書」を締結し、具体的に連携可能な地区における森林整備の内容等について「森林整備推進協定」を締結し、「森林共同施業団地」を設定しました。平成22年度には、伊豆地域森林共同施業団地（静岡県加茂郡松崎町ほか）、笹森山地区森林共同施業団地（福島県福島市）古殿地区森林共同施業団地（福島県石川郡古殿町）が設定され、民有林・国有林が連携した効率的な森林整備が行われています。

2 森林施業の低コスト化と木材の安定供給

植え付け作業効率のよいコンテナ苗を用いた低コスト造林の実践、間伐材等の安定供給と利用拡大を図るため低質材や林地残材のシステム販売及びバイオマス燃料・石炭火力発電所等での混焼原料としての需要開拓などを実施しています。

3 公益的機能の維持増進に向けた取組

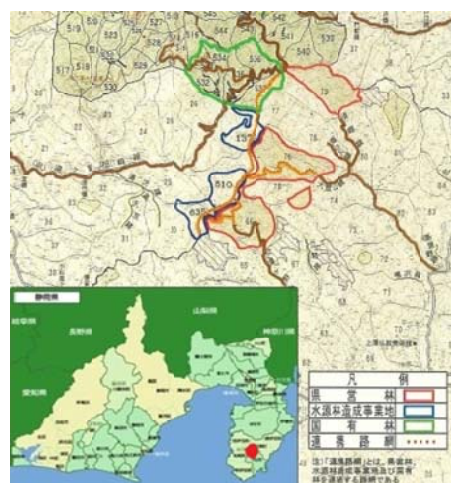
多様で健全な森林の整備・保全による生物多様性保全の取組を推進しており、特に、群馬県に所在する赤谷森林環境保全ふれあいセンターで実施している赤谷プロジェクトについては、生物多様性保全と持続可能な地域づくりを目指し、平成22年度に関係者と協働で策定した「赤谷の森管理経営計画」に基づき取り組んでいます。

4 生物多様性の保全

原生的な森林生態系や貴重な野生生物が生息・生育する森林については、モニタリング調査を通じて保全・管理を行い、野生鳥獣との共生を可能とする地域づくりに取り組むため、地方公共団体、NPO等と連携し、クマ・シカ等の植生荒廃対策等を実施しています。

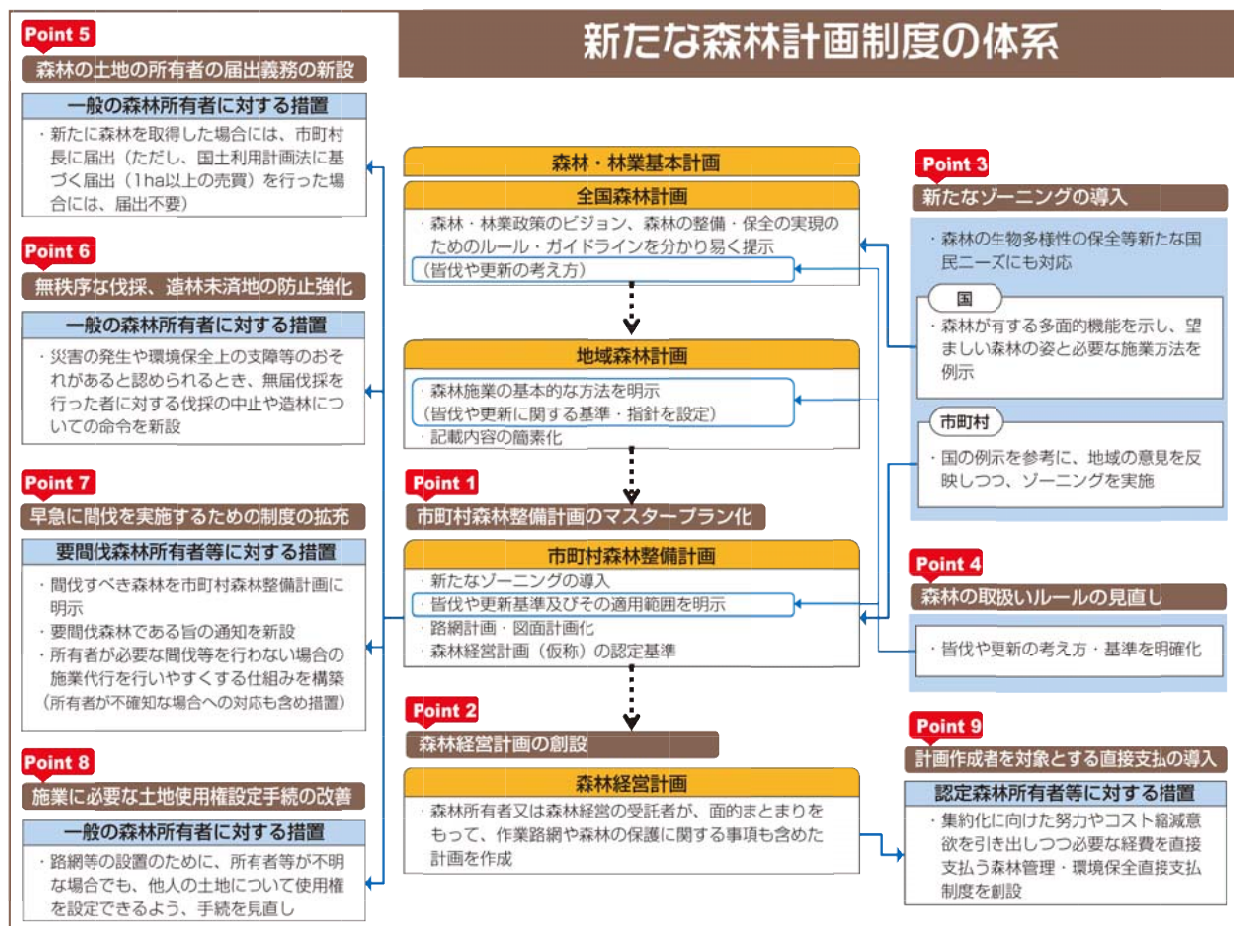


専用コンテナを利用した低質材や林地残材の集荷作業



伊豆地域森林共同施業団地

◎森林法の一部を改正する法律の概要



高尾の森から

第2回

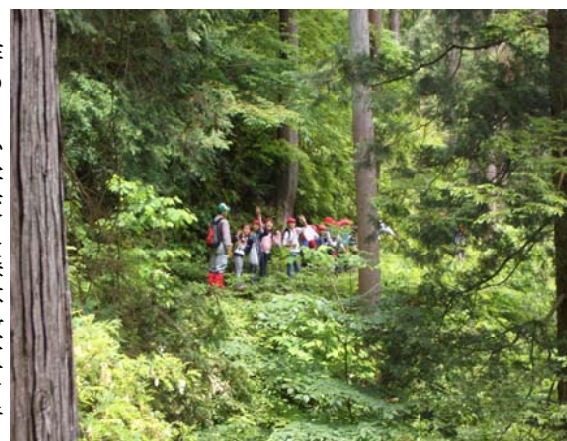
高尾森林センターの森林教室

当センターでは、未来を担う子どもたちに森林・林業についての理解や知識の普及を図るため、森林教室を行っています。

森林教室は、小学校等からの依頼を受け実施しておりますが、昨年度は13校、延べ1833名の参加があり、遠くは横浜市、都内墨田区や台東区などからも来ていただきました。今年度は、これまで3校に森林教室を行いました。今回、新たに行うことになった相模原市立作の口小学校の事例についてご紹介します。



間伐の現地(傾斜約40° コワ〜イ!)



高尾山での自然観察

作の口小学校に森林教室を行うことになったきっかけは、3月半ば、高尾山に遠足の下見に来られた先生方が、当センターのトイレに寄られたのが始まりでした。その日は、当センターが実施しているプログラム内容(施設内での木の実や枝を使ったクラフト体験や森林をフィールドとした間伐・丸太切り・自然観察等)を説明し、日を改めて日程や内容を調整することとなりました。

4月に入り遠足の日程が6月3日(金)に決まり、4月12日に打ち合わせを行いました。

当日は、午前中に林業体験でスギ人工林の間伐を行い、その後高尾山山頂まで自然観察を行うことになりました。また、一週間後の6月9日(木)には、学校に職員が赴き、林業体験で子どもたちが伐った間伐木



高尾山山頂にて

で丸太切りを行い、花炭作りと講義を行うこととなりました。

両日とも天気恵まれ、子どもたちはそれぞれ楽しそうに取り組んでくれました。普段見ることもない緑一色の景色、経験することのない森の中での作業ですから、とても印象に残ったようです。

後日、学校のホームページにこの日の様子が掲載されるとともに、当センターには、班ごとの集合写真と寄せ書きが届きました。

この寄せ書きの一部を紹介します。

「植物は うごいてないけど生きてる」

「森林はね とても大切なんだよ知ってた?」

「緑につつまれ いい気分」
「高尾山 緑にかこまれて自然観察



花炭作りの準備
(マツボックリ等が炭になる〜!)



子どもたちからの寄せ書き

せんぶり 湧き水 わすれない」
「杉の木は 暴風にたえつづけ 今もある」
「高い木は どんな景色をみているのかな」
子どもたちの純粋な心で観て感じた森林(自然)への気づきや感動が満ち満ちており、職員一同嬉しく感じました。
この記事を読まれて、森林教室に興味をもたれる東京近郊の方がいらつしやいましたら、ぜひ高尾森林センターにご相談ください。



とわだ遊学の森中央広場

福島県いわき市の中心部から北へ約30^分、双葉郡川内村との境に戸渡^{とわだ}国有林があります。

ここ戸渡国有林の一部について、2002年に磐城森林管理署との間で「ボランティアの森」活動に係る協定書を締結し「とわだ遊学の森」と名づけて活動を続けております。

ここは、阿武隈高地の中程にあるところで、標高は500～550^{メートル}あり、120年生以上の天然林となつていて、水源涵養保安林として維持保全されてきたために、東北の奥山のような景観と雰囲気

私と国有林

奥山の景観と雰囲気を実感できるところ
NPO法人いわきの森に親しむ会 理事長 松崎 和敬



塩の道の整備状況

残しており、ブナ、イヌブナ、ミズナラ、ハクウンボク等の高木も見ることが出来ます。

「とわだ遊学の森」の尾根沿いを中心に、幅1^{メートル}、長さ1・5^{キロメートル}の歩道を整備し、春から秋にかけて多くの市民を対象に、自然観察会を実施しています。ただ、地形に特徴がなく迷いやすいところですので、案内人をつけて利用してもらっております。

また、戸渡川の源流部に位置していることから、水源から支流、本流へとつながりながら川が成り立って



戸渡自然体験活動における林業体験

いる様子を直接観察することもでき、森林のもつ水源涵養機能について実感することが出来る場所もあります。標高差50^{メートル}とかな地形も幸いして、森林療法のための基地としても適しており、散策するだけで心身ともに、癒されるところでもあります。

ただ、この場所が多く知られるようになり、利用者が増加したことに伴い問題が発生しました。それは、利用者増に伴う踏圧の影響により、今までふかふかしていた歩道がやや堅くなり、4・5^{センチメートル}低くなってしまうことです。そこで、一日に利用できる人数を多くても50～60人以内、できれば20～30人以内に制限して利用してもらうことにしました。森に入らせていただくという気持ちで利用してもらっております。

2008年からは同じ戸渡国有林内で、遊学の森から東側に800^{メートル}位離れた場所を追加して利用させて

もらうこととし、3年かけて段階的に整備し、戸渡自然体験活動フィールドとして利用しています。ここは、国有林と隣接する民有林3^{ヘクタール}を一体的に利用できるようにしたところです。

国有林部分は、現在の国道399号の前身が開通する迄(約60年前)は利用されていた昔の街道(塩の道)を約800^{メートル}復元し、往時をしのびながら散策できるようにしました。

民有林の方は、南西に戸渡川が流れている平坦なところで、アカマツ、スギ、ヒノキ、コナラ、ミズナラ等の混交林になっています。

自然観察会、森林林業体験、森林療法体験等の活動ができるほか、キャンプや戸渡川での川遊びもできます。モリアオガエルの産卵もみられる自然豊かなところで、森林環境教育の実践の場として、多くの方々に利用してもらっております。

現在の環境を保持しながら、少しでも多くの方々に利用してもらいたいと思っています。



モリアオガエルの卵

森づくり最前線

下越森林管理署 村上支署 村上森林事務所 森林官 中束 敏之



抱卵中のミサゴ



失われたマツ林を取り戻す保安林改良事業

当事務所管内には、北は朝日山地に水源をもつ三面川、南は朝日飯豊山地から流れる日本一水質のきれいな清流に選ばれたこともある荒川があり、サケやサクラマス、アユなどの漁場として、多くの釣人に親しまれています。三面川河口には魚つき保安林が明治30年に指定されるなど、古くから海、川、山の連携が密接で、良好な関係が保たれてきている地域です。

村上市では、平成23年1月に、市の木・花・鳥を制定し、市の木として、市内の国有林野に広く生育するブナ、市の花として海岸保安林付近に自生するハマナス、市の鳥としてクマタカを選出しています。いずれも村上市の豊かな自然を象徴しています。

当支署の森林官として1年が過ぎました。環境に配慮しながら地域とともにマツ林の保全や育成など課題も多く、管内の状況をすべて熟知するには至っておりませんが、「村上のことは彼に聞けばわかる」と言われる森林官をめざし、日々努力していきたいと考えています。

村上森林事務所は関東森林管理局管轄区域の最北部、新潟県村上市の中央に位置し、旧村上市と旧神林村の国有林野、およそ5,500㌦を管轄しており、日本海に面したアカマツを主とした海岸林から山岳地帯の原生的なブナ林まで、多岐にわたり様々な森林の様子を見ることができます。

日本の白砂青松百選に選ばれ、かつての村上藩主やその家臣がアカマツ林に紅白幕を張り野宴を楽しんだとされる「お幕場」と呼ばれる地区では、マツクイムシによる被害を防止するため、村上市と協力して病虫獣害防除事業を実施しています。マツクイムシの被害から守られた樹齢百年を越えるアカマツ林には、オオタカやミサゴなどの猛禽類をはじめ多くの野鳥が生息し、近隣の人々の憩いの場としても親しまれ、安らぎを与えています。

また、開湯百年を迎えた瀬波温泉地区では、失われたマツ林を取り戻すため保安林改良事業を進めており、地元瀬波小学校6年生による卒業記念植樹や地区ボランティアの皆さんにより手入れされたアカマツやクロマツの幼樹が、子どもたちの成長とともに、すくすくと育っています。



地元瀬波小学校6年生による卒業記念植樹



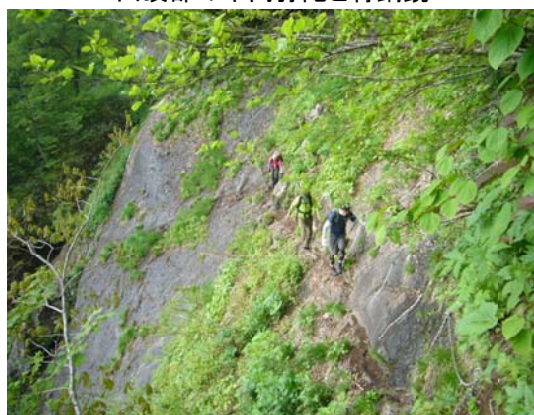
三面川のサケ漁

たかつまやま

管内の百名山「高妻山」



山頂部の十阿弥陀と青銅鏡



岩肌の横断

五地蔵山から先はアップダウンのある苦しい行程で、稜線直下の急登を登り切ると、ほどなく山頂へと辿り着きます。

豪雪地帯のため高山植物が豊富で、シラネアオイ、ハクサンシャジン、ヒメクモマグサなどが楽しめます。

上越森林管理署では、この高妻山をはじめとする豊かな自然を有する国有林を後世に伝えるため、登山者へのマナー向上の呼びかけや森林の保全管理活動を行っています。

(上越森林管理署 広報広聴連絡官 伊藤武徳)

高妻山（標高2,353㍎）は、長野県北部の戸隠連峰の最高峰で、ピラミダル（ピラミッドのように角錐をなすさま。）な姿から戸隠富士とも呼ばれています。

高妻山は、新潟県妙高市と長野県長野市に跨り五地蔵山から高妻山山頂に至るまでの稜線が関東森林管理局と中部森林管理局との境界になっています。

高妻山は山岳密教（平安時代に起こった真言宗、天台宗などの宗派）の山伏と呼ばれる修行僧が入った山のひとつで、その名残が地名として小さな石仏とともに残っています。

高妻山の一不動がそれで、二釈迦、三文殊、四普賢、五地蔵、六弥勒、七観音、八薬師、九勢至と続き、十阿弥陀で山頂に到着します。

登山ルートは、長野県戸隠キャンプ場から一不動を経て高妻山に登るものだけで、往復には9時間前後かかり、日本百名山中でも最長行の山のひとつです。

草原が広がる牧場を抜け、溪流沿いのゆるやかな道を進むと徐々に勾配が増し、不動滝のある帯岩にぶつかります。さらに登り、避難小屋の建つ一不動を経て、五地蔵山まで断崖を進みます。



雪国に特有なシラネアオイ

参加者募集

高尾山 親子でふさぎ観望会

ササバヤ

高尾山の表参道にある一見路を自然観察しながらのんびり登り、咲き始めた秋の花や涼しさを味わうとて知られるアサギマダラの飛翔がみられるでしょう。

日没後、墓王院でムササビを観望します。空飛ぶザブトンと形容されるムササビが頭上を滑空するのを見たら、感動を受けること間違いありません。

実施日 平成23年9月10日（土）

集合 京王電鉄高尾山口駅改札前14時30分

解散 集合場所と同様 21時00分頃

募集人員 30名（応募多数の場合は抽選）

申込方法 往復はがきに郵便番号・住所、申込者全員の氏名、年齢、性別、電話番号

（当日連絡可能なもの）、メールアドレスを記入の上お申し込みください。

申込締切 平成23年8月27日（土）必着

参加費 大人1,700円 小人500円

（中学生以下は大人同伴）

お申し込み先

〒193-0844 八王子市高尾町2438-1

高尾森林センター 森林ふれあい推進事業

「高尾山親子でふさぎ観望会ナイトハイク」係

お問い合わせ先（担当：杉山 順一）

電話番号（03）3420-1788

<http://www.rinpa.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>



■ ■ 編 発
行 所
集 所
総 関
務 東
課 森
局 林
管
理
局

F T
A E
X L
(0 (0
2 2
7 7
))
2 2
1 1
0 0
・ ・
1 1
1 1
5 5
9 8